



Newsletter

No. 65

2015年11月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

<http://www.labornetjp.org>

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

レイバーフェスタ 2015

「戦争 vs 文化」をテーマに開催

<見応えある演目>

メインの上映作品は石川テレビの『川柳人 鶴彬～今に伝わるメッセージ』。過去の戦争を考え、これからの平和のたたかい・文化のたたかいに必須のドキュメンタリー。地方局のいい仕事をレイバーフェスタをきっかけにもっと世の中に広げていきたいものです。

演劇では憲法寄席のオムニバスの中から新作『沈黙せよ』を公演します。音楽のパートでは、世界のプロテストソングが登場。また映像では、「戦争 vs 文化」「ブラック企業 vs 文化」という



ことで、土屋トカチ『アリ地獄天国』（仮・アリさんマークの引越社 争議記録）とビデオプレス『鉄柵をこえて～2015年夏・戦争法案ドキュメント』の2本をやります。関係者のトークを交えたホットな「vs」企画です。お見逃しなく。

<3分ビデオ・川柳を公募>

【3分ビデオ】仕事のこと、生活のこと、社会のこと、言いたいことを3分の作品にまとめて下さい。内容は自由ですが、今回は「戦争」テーマを歓迎します。DVDまたはデータを名前・タイトル・連絡先を明記の上、事務局までお送りください。当日15本を上映します。【川柳】あなたの作った川柳大募集！一人3句まで。テーマは「戦争」。下記のフォーマットから、または事務局あてにFAX・郵便でお送りください。当日フェスタで優秀作を発表します。（応募フォーム <http://vpress.la.cocan.jp/senryu2.html>）

<賛同人・賛同団体募集>

フェスタの財政を支えてください。ぜひ皆様のご協力をお願いします。なお賛同者には、参加費割引・チラシ折り込み・物販などの特典があります。
賛同金 個人1口1000円 団体1口3000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
フェスタ事務局（3分ビデオ・川柳応募先）
173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108
TEL03-3530-8588 FAX03-3530-8578
メール labor-staff@labornet.jp

レイバーフェスタ 2015
12.19 (土) 10.30～17.15 (OPEN10.00)

★会場
田町交通ビル6Fホール
〒105-8342 東京都港区田町 1-6-30

★参加費
一般当日1500円 学生・若者1300円
完全席（前10席）1000円 学生・若者800円

★メール予約
<http://ufk.nu/DDA>

★学生・20歳以下無料

★上映作品
TVDドキュメンタリー『川柳人 鶴彬』監督：石川テレビ
憲法寄席『沈黙せよ』監督：憲法寄席（川柳）
歌おう世界のプロテストソング
映像『アリ地獄天国(仮)』監督：アリさんマークの引越社
映像『鉄柵をこえて』監督：ビデオプレス（戦争法案ドキュメント）
3分ビデオ公募

★戦争 vs 文化

今年もはたらくもののお祭り「レイバーフェスタ」を12月19日（土）、東京・田町交通ビル6Fホールで開催します。ぜひ皆さんご参加ください。今年を振り返り、「アベ政治を終わらせる」来年への英気を養いましょう。

* * *

9月30日、安全保障関連法（いわゆる戦争法）が公布されたのに続き、10月1日には防衛装備庁が発足。安倍総理は国連総会で「積極的平和主義の旗を高く掲げ、これまで以上に世界の平和と繁栄のために貢献していく決意だ」と述べた。ご冗談を！ 軍需で特需、狙ってるんでしょ？ これまであたりまえだった「平和」「基本的人権」「表現の自由」は、リアルに危うくなってきた。ナチスに倣った安倍政権は、どんどん戦争への道を突き進んでいる。

かたや、これまで2度廃案となり「呪われた法案」とまでいわれていた労働者派遣法改正法も成立した。はたらく人は、際限のない奴隷労働を強いられている。イヤなら自衛隊で根性を鍛えてこい！なんて言われる。あの大战から70年。2015年のニッポンに未来はあるの？ なんとかしなくちゃ！ なんとかしようよ！

今年のレイバーフェスタのテーマはズバリ「戦争 vs 文化」。戦争で大儲けしようとしている政界・経済界や、賃金ドロボウ「ブラック企業」と対抗するため、これからどうやって文化で挑むのか。一緒に考えよう！ 希望はここから！ だれでも参加自由。若者無料！ 友人を誘ってご来場ください。

レイバーネット TV 2015 年後期 「オープンチャンネル」の試みが大好評

9月に始まった「オープンチャンネル」の試みが好評だ。若干マンネリ気味だった「レイバーネット TV」の枠を大きく広げることになった。9月23日はスレイマン・ブルキッチ氏の企画で、「やられたら やりかえせ! When hit, hit back!」を放送。ここで初めて「アリさんマークの引越社」を取りあげた。10月28日は、稲垣・根岸コンビによる「ヨーロッパの車窓から」、小倉利丸・平井玄・稲葉奈々子・海老原弘子の豪華論客に加え、凝った演出で度肝をぬいた(写真)。以下は、その放送に福岡の方から寄せられた感想。

「レイバーネット TV 第93号『ヨーロッパの車窓から～新しい社会運動・鉄道の旅』の動画を見させていただきました。面白かったです! 企画をパクリたいと思うくらいです。まず、なんといっても企画演出が素晴らしくて、ツカミから持っていられました。

チープな列車の模型もグッときましたし(笑)。動画だけじゃなくて、実際のイベント、シンポジウム形式でも使えそうですね。

いまの安倍政権の横暴ぶりに悲観的になる人が多いなか、小倉さんの最後のコメント、ポジティブな未来を指し示す方向性も良かったです。また第二弾をお願いします! 例えばアジアも、熱かった台湾や香港の学生運動を SEALDs と比較するのも面白いでしょうし。稲垣さんは車掌コスプレをお願いします!」

視聴数も順調だ。今年から「ユーストリーム」から「YouTube ライブ」に配信方法を変えたため、生放送時の視聴数が正確につかめないが、毎回100～200人くらいと推測される。アーカイブの視聴数は11月7日現在、90号「アベチャンネルにならないで!」2079、91号「やられたらやりかえせ! When hit, hit back!」1389、92

号「マイナンバーから身を守る方法」1319、93号「ヨーロッパの車窓から」521で、順調に伸びており、放送すれば1000人以上の人が確実に見ていることになる。ぜひこれを万単位に伸ばしたいものだ。



今期の残りの放送は、以下の予定。引き続き、視聴応援をお願いしたい。94号(11/11)「愛する人を戦地に送るな!～安保法と自衛官」(自衛官家族出演)、95号(11/25)「オープンチャンネル・音楽番組」、96号(12/9)「南京事件に迫る」(ゲスト=小野賢二さん「日テレドキュメント」主人公)。

来年も2月から「第2第4水曜日」の月2回放送を考えている。「オープンチャンネル」をはじめ、みんなでこのメディアをつくり育てていきたい。(レイバーネット TV プロジェクト)



韓国「無銭旅行」社会運動交流の旅

安田幸弘 (レイバーネット国際部)

10月末に出発した「9日間韓国無銭旅行」から帰ってきました。本来の目的は、清州で開かれた地域のメディア活動家の集まりで日本のレイバーネットの経験を紹介するというので、飛行機のチケットが出るというので、ついでにいろいろ所を回ってきました。「一人デモ」をやったり、コルト・コルテックのハンスト現場で開かれている集会にも行って久しぶりにコルト・コルテックの面々と会いました。「せっかくだから何か話せ」というので、フジロックでのエピソードを紹介したり。この他にも、烏山の移住労働者支援をしている教会で活動を見学したり、サムスン本社前で半導体労災問題解決を求めて座り込みをしている現場に行きインタビューしたり、民主化運動で20年ほど投獄されていた

人のアパートに転がり込んで、筋金入りの共産主義者の話を聞いたり、しばらく会っていなかった韓国の活動家たちと話をしたり、なかなか充実した9日間でした。もっとも、泊めてもらってタダ飯を食わせてもらっていたので、かなりハードな日程ではありましたが、近い内に記事にまとめたいと思います。(11月7日記)



話題のウェブサイト報道から

*それぞれ、全文はウェブサイト (<http://www.labornet.jp.org/>) をご覧ください。

この記事と動画でブレイクしたアリさん問題

アリさんマークの引越社、懲戒解雇撤回後も貼られる「罪状ペーパー」

10月1日、東京・小伝馬町にある「アリさんマークの引越社関東」社前で、プレカリアートユニオンと上部団体の全国ユニオンが会社の前で抗議行動を行なった。この日は社員Aさん(34歳・写真)の職場復帰の日だった。「会社関係者」と名乗るも名前を明かさない人物は、抗議行動に罵声を浴びせた。Aさんは「ブラックな労務管理」を改善するため、プレカリアートユニオンに加入し交渉を開始した。仕事上の荷物破損や車両事故の損害を給与からの天引き、支払不能の場合は借金として背負わされる弁

償システム、長時間労働や未払い残業代などに関する交渉内容だ。すると会社はAさんを「シュレッダー業務」へ不当配転した。そこは終日シュレッダー作業のみを行う「追い出し部屋」だった。(土屋トカチ)



「朝日新聞」声欄ボツ原稿を紹介しました

「平和」という言葉も規制の対象でしょうか？
～絵本袋をとがめた警官

安全保障関連法が成立した翌週、私は「平和がだいじ」という言葉を縫い付けた絵本袋(写真)を持って、宗教者平和ネットの呼びかけで国会前にいきました。日本山妙法寺の方が平和祈念をされていました。自分のメッセージとして絵本袋を持って、雨の中1時間スタンディングをしました。法案反対のために多くの方が集まり、SEALDsの意見表明に感心した場所です。私は若い人たちの命、自由、人権が守られる様にクリスチャンとして祈りました。帰り際、首相官邸前交差点にいた3人の警官の1人から呼び止められ、「何処に行くのですか」と聞き答め

られました。「どうして聞くんですか？」と質問すると、絵本袋をさして「平和って書いてあるから」と。「この袋を持つ私はテロリストですか？」と再度聞くと、警官は返答に窮していました。(森田麻里子)



レイバーネットボランティア特派員・佐藤茂美レポート

辺野古現地速報：怒りをもった人々を機動隊は止めることはできない！

今日(10月31日)も機動隊は午前6時45分になると動き出した。昨日、二見側の道路上の攻防にてこずった反省?を生かし、かなりの人数を配置してきた。7時近くになると、ダンプが連なってやってきた。案の定、二見の反対住民約30名はすぐに壁側に追いやられてしまった。メインの工事車両ゲートでは二見の成功で余裕を見せる機動隊。ゆっくり排除を始める。ごぼう抜きしては少人数ごとに壁に囲い込む。しかし機動隊の誤算は、囲いから何人も抜けだしダンプの前に立ちはだかるのでなかなか規制ができない。その攻防が

約1時間続き、機動隊に疲労が見られる。この攻防で女性が足にけがを負い病院に運ばれる。何人もの女性から機動隊のセクハラ行為の苦情が多く寄せられている。ここで機動隊の暴力に抗議するため、新ゲートを座り込みで封鎖。当然機動隊は排除を始める。しかし怒りを持った反対住民を止められるはずがない。(佐藤茂美)



ビデオプレスの新作、1/15・1/28に都内で上映会

暴かれる429号弾圧法廷～ドキュメンタリー映画『裁判所前の男』

〈裁判所前の男〉大高正二さんを覚えておられるだろうか。2006年以来、東京・霞が関の裁判所合同庁舎前で裁判のありようを厳しく批判し続け、その「報復」で刑事被告人にされて、実刑判決まで受けた人だ。私は本誌で11年以来、彼の裁判をレポートしてきたが、その闘いが映画になった。タイトルは、ずばり『裁判所前の男』。大高さんと裁判所の攻防を根気強く追ってきた松原明監督(ビデオプレス)が65分のドキュメンタリー映画に仕上げ、10月4日、川崎市内で開かれた「東京平

和映画祭」で初公開した。「裁判所はでたらめ判決をやめてください」。映画は07年12月、大高さんが裁判所前の路上に裁判のひどさを列挙したボードを並べ、マイクで訴えるシーンから始まる。(山口正紀/「週刊金曜日メディア欄」)



<テントから視えたこの国この時代> 不当判決！それでも「テントひろば」のたたかいは続く

乱鬼龍 (テントひろば運営委員)

10月26日、「経産省前テント裁判」の東京高裁判決は第一審の東京地裁判決をそのまま丸のみする形で下された。「原告(国側)」の主張「テント撤去」と「淵上・正清」2名に一審請求の金を支払え、というものであった。「仮執行の条件を付す」ということもそのままであったので、今後、「テント」はいつ仮執行が行われても、おかしくない状況になった。

この反動判決は、一裁判長、一裁判所の判断というのではなく、なにがなんでも原子力政策を断念しないという原子カムラ、そしてその背後にいるアメリカ帝国の巨大な権力意志が、そこにはあるといえる。また、「原発」をめぐる米・欧・日と露・中の世界的ヘゲモニー争いの中での、文字通り政治的な判決であると思う。

そうした状況の中で、今回の「テント判決」は、まさにあらかじめ予想、予測できたものであったともいえるが、私たちはもちろん、このような判決を受け入れることはできないし、自主的に退去するなどということはありません。

いつ「仮執行」があるかもしれないという日々の



中、夜遅くまでテントに座りこむ人、早朝始発電車に乗って、5時半、6時といった時間に来てくれる人、カンパを届けに寄ってくれる人など、緊迫する中で、テントは踏ん張り続けている。今後もできる限り、私たちはねばり強い行動を続けていく決意である。

ひとりでも多くの皆さんのご参加、ご支援を訴えたい。(11月8日、テント1520日目のに記す)

新会員紹介

●レイバーネットTVを支えたい 高田文章

レイバーネットTVを視聴するようになったのは、数年前です。貴重な情報をいつまでも無料視聴するのは気が咎め(ˆ);、この度正式に会員登録をしました。「従軍慰安婦」関連の市民活動には、十数年前から関わっていますが、会費を払うだけの末端の会員に留まったままです。それでもやらないよりはましと、自分の怠慢を正当化している次第です。私のような消極的な参加の仕方でも、数が集まれば、活動の裾野も広がるのではと願っているのですが・・・。メジャーなメディアの情報が当てにならない今、良質なネットメディアを少しでも支えていければと思っています。

●あきらめずに声を上げ続けたい 田代尚子

皆様、初めまして！ この度レイバーネットに入学致しました田代尚子と申します。特に立派な活動をしている訳ではありませんが、日々日本で生活していくことに、息苦しさを感ずるようになりました。目先のことしか考えられない幼稚な政治家が増えて、多くの仲間が「そんな日本は嫌だ！」

と訴えても、声が届いていかないもどかしさに苛立っています。それでもいや！ それだからこそ諦めずにしっかり手を繋いで、声をあげ続けていかなくてはならないと強く思うようになりました。個人的には、様々な圧力の中でメンタルを病んでしまふ、我職場の組合員さんに向き合いたくて、心理カウンセラー1級の資格を取りました。レイバーネットで紹介される映画にはいつも、勇気づけられています。世の流れの中、流される事なく本質を、共に見つめていければ嬉しいです。よろしく願います。

超管理社会はごめん！マイナンバーNO！



HP 検索「共通番号はいらない」

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円
(B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

現会員数 560名
ウェブアクセス 1日 5,500

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所
普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578